

小国小学校で白い森づくり体験事業を実施しました

～ 置賜森林管理署 ～

開催日：令和7年6月4日

開催場所：小国町大字大宮地内 町民の森、小国小学校

置賜森林管理署では、森林・林業や国有林の仕事に理解を深めていただくため、小国町立小国小学校、小国町、林業事業体と連携して、小国小学校5年生児童を対象とした森林環境教育を毎年実施しています。

令和7年度は、5年生39人を対象に、伐倒・玉切り実演の見学、しいたけの駒打ち、森林教室を行いました。

まず、大宮地内の町民の森で木の伐倒や玉切り作業を見学しました。大きな木を伐り倒すところを初めて見た児童たちは、その迫力に圧倒された様子でした。

次に、小学校に戻ってしいたけの駒打ち作業を体験しました。児童たちはドリルで丸太に穴をあけたり金づちを使って駒を打ち込んだり、はじめは慣れない様子でしたが、次第に上達して手際よく楽しそうに作業を行っていました。

このあと森林のはたらきや小国町の森林について森林教室を行うと、好奇心旺盛な児童たちは積極的に手を挙げて沢山質問をしてくれるなど、森林に興味を持ってくれたようで、森林教室をやって良かったと嬉しく思いました。また東北森林管理局若手職員が作成した、楽しく遊びながら森林づくりを学べるカードゲーム「ZORING」は今回も大盛況でした。

当署では、これからも、地域子どもたちに森林への理解と関心を深めてもらえるよう、引き続き森林環境教育に取り組んでまいります。

置賜森林管理署：森林ふれあい担当



真剣な表情で玉切り実演を見つめる児童たち



しいたけの駒打ち